

令和7年度 第2回 国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会

日 時 令和8年3月17日（火）午後2時～

場 所 国分寺市役所2階 会議室201

会 議 次 第

1 教育長挨拶

2 事務局報告

3 開会

4 報告事項

(1) 令和7年度史跡保存整備工事について

資料 1

(2) 北方・推定中院地区整備工事の調整設計について
(令和8年度史跡保存整備工事について)

資料 2-1

資料 2-2

資料 2-3

資料 2-4

5 その他

6 現地視察

令和7年度整備工事完了状況（南門地区）

令和8年度整備工事対象地（北方・推定中院地区）

7 閉会

配布資料一覧

- ・ 令和7年度第2回国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会会議次第
- ・ 令和7年度第1回国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会議事録
- ・ 委員名簿
- ・ 武蔵国分寺跡資料館だより第58号
- ・ 武蔵国分寺跡資料館だより第59号
- ・ 「史跡武蔵国分寺跡 桜ライトアップ」チラシ
- ・ 「史跡桜まつり」チラシ
- ・ 「春かおる、立川、国立、国分寺、桜デジタルスタンプラリー2026」チラシ

資料 1 令和7年度史跡保存整備工事について

資料 2-1 北方・推定中院地区 整備平面イメージ図

資料 2-2 北方・推定中院地区 年次別整備内容

資料 2-3 築地塀版築復元整備について

資料 2-4 SB39 掘立柱建物瓦積遺構レプリカについて

令和7年度第1回国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会議事録

日時 令和7年7月18日(金) 午前9時30分～
場所 もとまち地域センター 1階 集会室

整備委員会委員(6名)

委員長	坂 誥 秀 一
副委員長	福 嶋 司
委員	久 保 田 尚
委員	酒 井 清 治
委員	佐 藤 信
委員	鈴 木 誠

オブザーバー(3名)

文化庁文化財第二課 主任文化財調査官	洪 谷 啓 一
文化庁文化資源活用課/文化財第二課 文化財調査官	岩 井 浩 介
東京都教育長地域教育支援部管理課	野 口 舞

出席職員(12名)

教育長	古 屋 真 宏
教育部長	日 高 久 善
ふるさと文化財課長兼市史編さん室長	依 田 亮 一
ふるさと文化財課 史跡整備担当課長	諸 橋 広 光
〃 文化財保護係長	渡 邊 晃 世
〃 文化財保護係	佐 藤 桜 花
〃 文化財普及担当係長	勝 山 俊 也
〃 史跡係長	野 中 太 久 磨
〃 史跡係	牧 野 望 実
緑と公園課 課長	岡 沢 法 彦
〃 公園緑地係長	井 上 健 次
〃 公園緑地係	内 山 陸

文化財保存計画協会(コンサルタント)

<会議次第>

1. 教育長挨拶
2. 委嘱状伝達
3. 事務局報告
4. 開会
5. 報告事項

(1) 史跡の公有化・維持管理について

資料1

(2) 史跡地内トイレの改修について

資料2

(3) 史跡に関する普及・活用事業について

資料3

(4) 令和7年度史跡保存整備工事について

資料4

6. 審議事項

(1) 北方・推定中院地区整備工事の調整設計について

資料5

7. その他

8. 現地視察

9. 閉会

1. 教育長挨拶

諸橋課長 おはようございます。今年度よりふるさと文化財課史跡整備担当課長に着任しました諸橋と申します。本日は、ご多用の中お集まりいただきありがとうございます。まずは、開会に先立ち事務局を代表しまして古屋教育長より御挨拶申し上げます。

古屋教育長 皆さま、おはようございます。教育長の古屋でございます。本日は大変お忙しいなか、早朝から今年度第一回目の史跡保存整備委員会にご参集下さいまして、誠にありがとうございます。皆さまご承知おきとのこととは存じますが、井澤市長が先週末をもって退任し、7月13日から新市長として丸山哲平が就任しております。井澤前市長は、全市協の会長も務めさせていただき、委員の皆様方には大変お世話になりました。前市長に代わりまして改めて感謝申し上げます。丸山新市長も、前市長の思いを引き継ぎ、史跡武蔵国分寺跡の整備を推進する旨を表明しております。引き続きよろしく願いいたします。

また、新年度となり、ふるさと文化財課の体制も課長を含め大きく変わりました。そちらの方は、後ほど担当の諸橋課長からご説明差し上げたく存じます。史跡武蔵国分寺跡の整備につきましては、長年にわたる委員の皆様のご指導・ご助言を受け、昨年には、南門・参道・エントランス広場といった南門地区の顔となる部分が完成し、また、今年度の工事をもって令和4年度より実施してきた南門地区の整備が終わり、ひとつ大きな区切りを迎えることとなります。その一方で、年々広がっていく公有地や歴史公園の植栽、それから解説施設や便益施設の維持管理の負担が非常に大きくなっているという課題も深刻なものとなってきております。こちらについても、皆さまのご助言をいただきながら、適切な対応策を検討しなくてはいけないと考えております。

本日の委員会は、第一回目ということで、令和7年度の史跡に関する事業内容を中心に、来年度以降の整備対象地である北方・推定中院地区つきましても様々な意見をいただければと思います。また、こちらでの会議が終了しましたら、今年度の整備対象地、トイレの改修状況、来年度整備対象地など現地をご覧ください段取りとなっております。よろしくお願い申し上げます。

2. 委嘱状伝達

諸橋課長 ありがとうございます。お配りした次第に沿って進めさせていただきます。二番目、委嘱状伝達となっております。新しい委員である永澤章さまに委嘱状の伝達を行う予定でしたが、急遽ご欠席のため、こちらはまたの機会にさせていただきます。

3. 事務局報告

新年度にあたり、ふるさと文化財課に人事異動がございましたので、ここで紹介をさせていただきます。

まず、ふるさと文化財課長につきましては、前任の新出が役職定年となり、依田が市史編さん室長と兼任の上、着任しております。また、史跡整備担当課長の職を新設して、私諸橋が社会教育課長より着任いたしました。史跡係長の寺前は市史編さん担当係長となり、後任には建築指導課から野中が着任しております。文化財保護係は係員の松崎が異動となり、その後任として新入職員の佐藤桜花が着任いたしました。それでは一言ずつ、ご挨拶をさせていただきます。

依田課長 ふるさと文化財課長兼市史編さん室長を拝命いたしました。依田と申します。史跡指定 100 周年の際には委員の先生にはお世話になりました。それから 3 年ほど市史編さん室の方に席を移していましたが、文化財課長と編さん室長として、両課、密接に連携しながら業務を進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

野中係長 建築指導課から史跡係長として 6 年ぶりに戻ってまいりました、野中と申します。よろしく願いいたします。

佐藤係員 今年度より入庁しました。佐藤と申します。考古学専門の学芸員です。よろしく願いいたします。

諸橋課長 本日の委員会につきましては、定数 10 名の過半数以上、6 名の委員の出席を満たしております。従いまして、国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会設置条例第 6 条に基づき、本日の会議は成立いたします。市民傍聴者は 0 名です。また、文化庁から渋谷主任調査官と岩井調査官、東京都教育庁から野口主任にオブザーバーとして御出席いただいております。それでは、御三方からお一言ずつ、御挨拶を頂戴出来ましたらと存じます。

渋谷主任調査官 いつもお世話になっております。文化庁史跡部門の渋谷です。オンラインにて失礼いたします。国分寺市におかれましては、武蔵国分寺跡の保存整備について、保存・整備・活用と非常に積極的に取り組まれている印象です。今年度も引き続き整備など行われるということで、本日議題にもあがっておりますが、様々な事業を展開するというので、引き続き事業を推進していただくためにも先生方にもご指導をいただければと思っています。今年度もよろしく願いいたします。

岩井調査官 文化庁整備部門の調査官をしております。岩井と申します。今年度も引き続き武

蔵国分寺跡の担当をさせていただくことになりました。本日は京都からの参加ということで大変申し訳ございませんが、いろいろとご意見を拝見しながらご支援をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

野口主任 野口と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

諸橋課長 ありがとうございます。皆様、よろしく御指導のほどお願いいたします。それでは坂詰先生、進行の方をどうぞよろしくお願いいたします。

4. 開会

坂詰委員長 それでは、令和7年度第1回目の委員会を始めます。どうぞよろしく御願いたします。お手許に令和6年度第3回の議事録があるかと思っております。修正等ありましたらこの場でお知らせいただくようお願いいたします。なければ承認とさせていただきます。

5. 報告事項

(1) 史跡の公有化・維持管理について

坂詰委員長 それでは、報告事項に移ります。まず(1)について、事務局より説明を御願いたします。

渡邊係長 文化財保護係長の渡邊です。よろしくお願いいたします。資料1-1、A4横サイズの「史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡地番図」を御覧ください。こちらは史跡の範囲及び公有化の範囲をお示ししたものです。令和5年度までに公有化を完了した範囲を青色で、令和6年度に完了した範囲を黄色で、そして令和7年度に買収する場所をピンク色で示しております。まず昨年度、令和6年度は黄色の部分4か所合わせて1,641.92㎡を公有化いたしました。これにより府中市域分の349.38㎡を除く武蔵国分寺跡の史跡地、総面積約16万5,259㎡のうち、令和6年3月末までで約12万5,988㎡を公有化いたしました。公有化率は、この3月までで76.2%となっております。次に、今年度の買収予定を御案内いたします。今年度の買収を予定しているものがピンク色でお示した場所で1か所ございます。公簿で1,200㎡となっております。今年度末の公有化率は76.8%となる見込みでございます。

資料1-2 史跡の維持管理についてご説明いたします。管理の面積が広がり、維持管理にかかる負担が増している状況です。令和7年度の維持管理の予定について、①シルバー人材センターによる除草・柵修繕・植木刈込等、②障害者就労施設による除草を行います。①②については以前からも行ってきましたが、人手不足などの影響で除草が追いつかないため、今年度より③民間事業者による尼寺の除草を行うことにしました。先日一回目の除草が終わりました。今年度の状況をみて、民間事業者への委託への割合など考えていきたいと思っております。

次に枯損木・倒木処理について、年々管理費が増えています。湧水園内の樹木に

については福嶋先生のご助言をいただきながら、今後も適切に管理していきたいと思
います。史跡地内の修繕の状況について、東山道武蔵路の西元町地区の看板4枚が
劣化しているため今年度中に修繕を行う予定です。今後修繕が必要な箇所の写真を
資料裏面に記載しました。①～④は尼寺の修繕が必要な箇所、⑤が北方地区の看
板、⑥が湧水園内の七重の塔の屋根です。来年度に⑥の修繕を進めていきたいと思
います。報告は以上です。

坂詰委員長 史跡の公有化・維持管理について報告がありました。何かご質問ございますか。

鈴木委員 整備後の維持管理の問題は全国的に深刻な問題です。これは、これまで誰も先の
ことを見越して計画を立ててこなかったことが原因です。改善策として、森林環境
贈与税を何かに活用できないか、ということを考えています。また、人口の多い高
齢層のファンクラブを作って、自治体に寄付してもらうなど、郷土愛を活用して得
た寄付金を維持管理に活用できないかと考えています。

福嶋副委員長 鈴木先生と同意見です。計画をする段階で将来を見越した緑の在り方を考えるべ
きと思っています。

佐藤委員 鈴木先生と同意見です。他の自治体で上手くいった事例を参考にしてみたいはいか
がでしょうか。例えば、史跡地の芝生の管理に芝刈りのルンバが有効だったという
事例があります。また、ボランティアについて、返礼として現地説明会に参加でき
る、講座に無料で参加できる、などといった見返りを用意している事例もあるの
で、そちらも参考にしてみたいと思います。

坂詰委員長 具体的にどのように対応していくのか、即刻協議してほしいと思います。国分寺
市はせっかく広い面積の整備が進んでいるので、よりよい形で整備が進むようにし
てください。除草などについては、シルバー人材センターに依頼するよりも専門の
民間業者に依頼した方が、経費を効果的に使えるのではないかと考えますが、いか
がでしょうか。

諸橋課長 市に高齢者の雇用促進という方針があるため、現在、随意契約でシルバー人材セ
ンターに依頼しています。今年度からシルバー人材センターの手が回らないところ
を民間の業者を入れて進めている、という状況です。ルンバの話については南門地
区西側などでロボット芝刈り機が活用できないか、現在業者に確認しているところ
です。

坂詰委員長 シルバー人材センターは除草などの専門家ではないため、専門の民間業者と比較
すると、対応が遅く、経費がかかるかと思います。より効果的に経費を使っていく
ことが、よりよい維持管理につながると思うので、ぜひ一度考えてみてほしいとこ
ろです。

教育長 今年から民間事業者を尼寺に導入したことで、短期間で効果的な成果をあげてい
ます。私共としても課題意識を持っているので、今後もこの点について十分に検討
していきます。

福島副委員長 草刈りについて、技術的な面も重要ですが、刈る時期についても留意してください。7月か8月の刈り取りが効果的ですので、その点ふまえて実施してください。

(2) 史跡地内トイレの改修について

坂詰委員長 それでは、史跡地内のトイレの改修について、事務局より説明をお願いします。

渡邊係長 伽藍中枢部の北に設置されているトイレの改修工事の進捗状況についてご報告いたします。資料2-1、2-2をご覧ください。当該トイレは史跡地内にあることから、文化財保護法第125条第1項の規定により文化庁へ現状変更許可申請を行い、令和6年6月20日付で許可を得た上で、掘削を伴う工事を行っています。工事期間は令和7年6月1日(日)～8月31日(日)まで、9月1日からオープン予定です。現在の状況としては、解体、基礎、鉄骨工事が終了し、外壁工事中です。資料の倉庫①はシルバー人材センターの草刈り機などを入れる倉庫、②は掃除用具を入れておく倉庫です。男子トイレ及び女子トイレの入り口前に目隠しパネルを設置し、史跡地のマップ等を掲示することで、訪問者の利便性の向上を図ります。また、以前、坂詰先生にもご意見をいただきました古代のトイレについての情報発信として、個室の扉の中に古代のトイレの豆知識を掲示し、武蔵国分寺が建てられた時代へ思いをはせるきっかけを作ります。さらに、車いすの方でも利用がしやすいように、南側から車を入れる動線をつくりたいと思っています。また、視覚障害者の方や車いすの方も利用しやすいように点字ブロックをつけ、スロープも付けました。歩行者の方は今までと同じ動線になっております。皆様に使いやすいように、景観になじむように工事を進めています。報告は以上でございます。

坂詰委員長 トイレの管理はどこがする予定ですか。

渡邊係長 トイレの管理は教育委員会からシルバー人材センターに委託する予定です。

坂詰委員長 ただ委託するのではなく、何かあった時にも対応できるような管理体制をしっかりとつくるのが重要と思います。良いものでも使い方によってはすぐに傷む可能性があるため、見回りをするとか、管理体制をしっかりとしてほしいところです。

(3) 史跡に関する普及・活用事業について

坂詰委員長 それでは、3番目です。史跡に関する普及・活用事業について、事務局より説明をお願いします。

勝山係長 報告事項(3)史跡に関する普及・活用事業について、ご報告申し上げます。お手元配布済み資料、武蔵国分寺跡資料館だよりをお開きいただき右側、国分寺市文化財ふれあいカレンダー【令和7年度事業予定】をご覧ください。ふれあいカレンダーの事業計画のとおり、既に4月の「子ども歴史クイズラリー」・「拓本体験」につきましては、実施済みでございます。これらにつきましては、別紙資料3-1を併せてご覧ください。

今年度、最初に開催いたしました子ども歴史クイズラリーについてご報告申し上げます。湧水園内外に関連したクイズを10問用意し、クイズの該当場所の付近などにヒントを用意し、それらを探すことにより、各地点を見学できるよう工夫しました。開催期間は4月28日から10日間開催し、子ども43名、大人42名合計85名の方々がクイズに参加いただきました。

続きまして、拓本体験です。和紙を瓦の上に置いて、クーピーペンシルで文字瓦の字を浮き上がらせる乾拓式の体験事業です。4月29日のゴールデンウィーク中の谷間の休日を開催日に設定し実施しました。午前と午後それぞれ1回開催し、子ども20名大人39名、合計59名の参加がありました。出来上がった拓本は、色画用紙に貼り付け持ち帰ってもらいました。なお、こちらの拓本体験は、普及ボランティアさんも参加いただき、当日は合計10名のボランティアさんの参加がありました。

続いて7月8月、夏休みのイベント情報です。資料3-2の「夏休みイベント情報」をご覧ください。上から順に、拓本うちわを作ろう、こちらは先ほどの拓本体験に続き、文字瓦を使った乾拓ですが、今回は、これら拓本を切り取り、無地のうちわに貼り付けるものです。以下、昆虫や展示品のモチーフの絵柄に色を塗り、缶バッジを作り、シリコンで型を取り、色を塗るレプリカ作成などを開催します。また、1月より資料館二階を執務室にしておりましたが、新庁舎への引っ越しにより、空いた事務室の空間を多目的室として開放をはじめ、夏休み期間中は、資料館に展示しているものなどの塗り絵を用意し解放します。ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座につきましては、9月からの開講とし、これに合わせ市民歴史講演会は11月に開催いたします。旧本多家住宅長屋門の展示、飾りにつきましては、4月端午の節句飾りから始まり、9月の十五夜飾り、12月のお正月飾りなど年中行事に合わせ、展示して参ります。市外文化財巡りは、今年度は千葉県市原市をバスで訪ねて、上総国分寺僧寺、尼寺展示館、市立ふるさと歴史館などの見学を予定しております。このほかの事業につきましては、お手元資料をご確認頂きたいと思っております。

続きまして、校外学習事業についてご報告申し上げます。資料は3-3をご覧ください。国分寺市では、市立小学校六年生に対して、国指定遺跡武蔵国分寺跡の校外学習を市内10校の小学校を対象に実施しております。各校ごとに受け入れ、クラスに学芸員を配置し、僧寺、七重塔跡をはじめ、武蔵国分寺跡資料館などの解説を実施しております。すでに今年度3校の受け入れ済みです。また、今年度より、同じく市内市立小学校3年生の社会科見学事業を受け入れしております。市役所新庁舎にお越しいただき、庁舎内の見学をし、一階のホールにある七重塔の模型の前で、解説を行います。すでに7校の小学校の見学が終了しております。塔の模型の話、武蔵国分寺の話を、学芸員をはじめふるさと文化財課の職員が解説いたしま

す。説明は以上です。

鈴木委員 現在整備済のエリアが増えてきていますが、現地でメインとなるようなイベントや活用を実施していますか。

勝山係長 現地では、史跡地の大型立体地形模型前でガイドボランティアの説明会を年2回ほど行っています。また文化財巡りの際に史跡地をルートに取り入れています。

鈴木委員 史跡地では桜の時期に一番人が集まると思います。今日も国分寺駅から会場まで歩いてきましたが、史跡に近づいてくると、カフェがあったり、農家が野菜を売っていたりして驚きました。そういうニーズがあるのならば、マルシェ的なものなど、人を集める仕掛けをしてみてもいいと思います。

教育長 桜の時期に、ライトアップをして多くの方にご来場いただく機会を設けています。また、今年度は福間洸太郎さんという世界的に有名なピアニストをお招きして、基壇の上にグランドピアノを置いてコンサートを行いました。こちらも多くの方にご来場いただく機会となりました。現地で完成したのを確認して、皆でまた意見が出せたらいいなと思っています。

鈴木委員 なぜ自分がマルシェなどと言っているかということ、トップダウン型ではなく、市民参加型のイベントを進めてほしいからです。教育委員会はこの視点が一番弱いと思うので、その点意識して進めてほしいところです。

坂詰委員長 史跡整備と市民参加型イベントについて、万葉花まつりが関係すると思います。依田課長、史跡地の活用についてご説明願います。

依田課長 桜のライトアップ時期に福間洸太郎さんをお招きしました。それを主催したのが地元の団体です。その団体が万葉花まつりという史跡地を活用したイベントを行っていましたが、高齢化のため、今年度を最後に、団体を解散することになりました。こういった史跡地を活用する事業を今後どうやって継続していくのか、という点の一つの課題となっています。また、秋に、ぶんぶんウォークという市民団体の方が主になって、カフェですとか、武蔵国分寺跡資料館の前面の駐輪場にマルシェを一定期間開くイベントも行っています。そういったところとも連携しながら史跡地の活用につなげていけるような取り組みもしていきたいと思っています。

また、東京都の指定名勝になっている真姿の池湧水群に弁財天がありますが、12年に一度の巳年に御開帳をしています。今年がその御開帳の年になっています。現在、池を所有されている地元の方と市役所でタイアップして、湧水園などを使いながらコンサート行事などの企画を進めているところです。開催状況も含めて、次回以降の整備委員会でご報告差し上げたいと思います。

坂詰委員長 今回の活用の問題、久保田先生いかがですか。

久保田委員 鈴木先生がおっしゃった、上からではなくて市民参加で下から盛り上げるのはその通りだと思うのでこういうイベント、どんどん活用して行ってほしいと思います。

坂詰委員長 鈴木先生がおっしゃった通り、上から目線ではなく、ボトムアップできるように、それぞれの団体との協力を今後やっていただければと思います。何かいいアイデアがありましたら、事務局までお知らせください。

(4) 令和7年度史跡保存整備工事について

坂詰委員長 それでは、4番目です。令和7年度史跡整備工事について事務局より説明を御願います。

野中係長 資料4-1と4-2を用いて説明させていただきます。まず、4-2で位置関係のおさらいをします。武蔵国分寺跡中枢部から整備工事をはじめ、令和4年から南門地区に入りました。南門の周辺で赤く塗られているところが昨年度までで工事を終えているところですが、今年度はオレンジに塗られている3か所の整備を行うことで、南門地区の整備工事がいったん完了します。後ほど審議事項であげているのが、北西に位置する北方地区です。全体的な位置関係のおさらいでした。

では、4-1にうつります。内容については昨年度皆様にご案内、ご了解いただいている内容です。無事、工事契約が決まり、現在着工しております。工事主管課がふるさと文化財課、工事担当課が緑と公園課、施工会社は西武造園株式会社東日本支店です。契約工期は6月6日から令和8年2月27日までです。今日、現場事務所が建つ予定です。整備内容については中門東範囲、南東範囲、南西範囲の大きく3か所ございます。資料裏面に拡大した図をつけています。

中門東範囲には中枢部区画施設の南東のコーナーがあります。すでに西側で施工済みの塀と溝の平面表示を中門東範囲でも行います。南東範囲は、伽藍地区画溝が南東範囲の北側を通っているため、道路を挟んだ西側の伽藍地区画溝と続くように、溝の表示を行います。なお、現在このエリアは通称砂利広場と呼ばれ、使い勝手の良い広場としていろいろな方に利用していただいています。工事後も使い勝手のよい広場として継続できるように、地面はダスト舗装にします。また、便益施設として四阿を2基設置します。さらに、適宜照明灯の設置や民家沿いへの植栽を考えています。南西範囲は、北側と地面の高さ、植栽を合わせます。

この件について、先日11日と12日に市民説明会を行い、伐採は最低限にしてほしい、日陰がなるべくほしいという意見が出ました。今回四阿を設置することで、一定のご理解をいただいたと思っています。また、整備の面積が広いので水飲み場もあるとありがたいというご意見もいただきました。この点については、今後の課題とします。ところで、砂利広場には文化財倉庫がありますが、工事終了後に解体予定です。もとまち地域センターの庭に倉庫を年末までにつくり、砂利倉庫の中身を移転させる段取りになっています。説明は以上です。

坂詰委員長 令和7年度史跡整備工事について、ご質問何かございますか。

久保田委員 史跡地内の道路幅が狭く、車同士のすれ違いができません。この状況は20年前か

ら指摘していますが変わっていません。整備が進み、これから観光客が増えていくときに、このエリアの歩行環境をどうするか考えるべきです。今後の展望をお示しいただきたい。

坂詰委員長 史跡地内の、動線はどうなっているのか、お答えください。

野中係長 正直申し上げて、20年前から大きな動きがなく、講堂跡を東西に横切る形で国3・4・1号線という都市計画道路がいまだに残った状態です。久保田先生にも入っていただき、検討しましたが、道路の廃止には至りませんでした。現在もまちづくり部門の方で検討していますが、大きな動きがないのが現状です。一方で、木杭と番線柵で囲われていた公有地が整備されたことで、歩行者の逃げ場は増えてきている、という風に言えるかもしれません。

坂詰委員長 今後、国分寺市全体で史跡地を、道路をどうしていくのか、今一度検討してください。ぜひ、前向きな姿勢で先生の意見を反映させてほしいと思います。

佐藤委員 以前整備の計画をしたときに、史跡内の道路について、通過交通は外に回して、中は地元で住んでいる方の交通くらいにすればどうか、という話をしました。個人的には一方通行を上手に使い、通過交通の車は排除した方がよいのではないかと思います。そういったことを計画してもらえたらと思います。

久保田委員 地区道路をつくる計画は20年前から出ている話です。都市計画道路が廃止されたら、地区道路をつくるため、廃止されるのをずっと待っていたが、現状されていません。都市計画道路の廃止は難しそうなので、もう廃止前に地区道路をつくっていった方が早い気がします。

坂詰委員長 何年前かにこの地域を中心とする計画会がありましたが、それも進んでいないということです。その点についての記録がまとめられてレポートになっているかと思っています。事務局はそれを再度読み直し、課題を再整理してもらえたらと思います。よろしくをお願いします。

6. 審議事項

(1) 北方・推定中院地区整備工事の調整設計について

坂詰委員長 それでは、続いて、審議事項にうつります。本日の審議事項は北方・推定中院地区の調整設計についてです。事務局より説明を御願います。

野中係長 資料は5-1、5-2、5-3、5-4があります。5-5・5-6は参考資料です。5-5は令和2年度に定めた実施設計です。5-6が東京都遺跡調査研究発表会でこのエリアの成果報告をした際の資料を抜粋したものです。適宜ご参照ください。

先ほど資料4-2で、位置関係を説明しましたが、来年度から北方推定中院地区の整備工事に入ります。現時点では8・9年度の二か年で工事を行う予定です。これについては、令和元年度に基本設計、令和2年度に資料5-5の実実施設計、それ

に先立って資料5-6の成果報告がありました。ただ、令和2年はコロナウイルスが猛威を振るっており、委員会自体が書面開催となり、実施設計をとりまとめました。来年度から北方地区の整備工事を行うにあたり、実施設計の内容を見直した結果、時点修正して対応すべき課題が3点出てまいりましたので、ご審議賜りたいと思います。

課題は次の3点です。1点目は築地塀復元の素材について、2点目はSB39 掘立柱建物跡の表示について、3点目は敷地北側の植栽についてです。

まず、1点目築地塀の素材について、資料5-2をご覧ください。令和2年の実施設計では「粘性土+消石灰+にがり」により1.4mの高さまで版築予定でしたが、立体復元を行う築地塀に屋根がなく、上記材料による施工では耐久性に懸念が残ります。対策をA～E案まで挙げました。順を追って説明します。A案は伝統工法+覆屋の設置。覆屋により劣化の進行を緩和できますが、築地塀の視認性を阻害します。B案は伝統工法+防水・撥水処理を行います。数年ごとの定期的な保存処理が必須になります。C案は改良土による版築です。伝統的な版築よりも強度が出るため覆屋や保存処理が不要になります。D案はコンクリート躯体上に「塗り版築」を行います。屋根や保存処理が不要となりますが、改良土版築と比べ版築感が落ちます。E案はコンクリート躯体上に「版築風左官仕上げ」をします。塗り版築より強度は劣りますが維持管理が容易になります。事務局としてはC案を二重丸とさせていただきます。

次に、SB39 掘立柱建物跡の表示について、資料5-3をご覧ください。令和2年の実施設計では、瓦積側壁遺構検出部分はレプリカ展示、掘立柱跡は立体表示を行う予定です。その際、遺構レプリカ展示と模式的な表示が混在するため、見学者に誤解を与えること、また遺構を貫く下水管について、そのまま復元するのか、瓦積みで補うのかということをご審議賜りたいと思います。対策を2案あげました。A案は瓦積も模式的な復元表示とする案です。瓦を復元制作し、模式的に積むことで、瓦積側壁の様子を表示しますが、全体形状や瓦の復元が必須になります。B案は瓦積レプリカと掘立柱表示を見切り材で分離する案です。表示手法が復元と露出展示になることから、見学者の誤解を防ぐためコンクリート等で分離し、説明板で補填します。またレプリカは耐久性向上のためGRC、またはFRP製とします。こちらは出土状況をリアルに表現できるため、事務局としてはB案を○とさせていただきます。

敷地北側の植栽について、資料5-4をご覧ください。令和2年の実施設計では、北側隣地との境に近いバッファゾーンについて、オカメザサを植栽する予定でした。しかし、オカメザサは1～2mに成長するため、年2回程度の定期的な刈込が必要となります。史跡地内の植栽の維持管理の負担が年々大きくなっているため、より管理が容易な植栽に変更したいと思います。

以上3点が審議をお願いしたい事項となります。ご審議の程、どうぞよろしくお願ひいたします。

坂詰委員長 3点審議事項があるので、1点ずつ確認していきます。まず1点目、築地塀の素材についてですが、素材よりも前に、築地塀に屋根がつくかどうかなど、形態についてご説明ください。

野中係長 資料5-5の設計図をもとにご説明いたします。令和2年度の実施設計に基づき、築地塀は1.4mの高さまで復元します。基底部の幅は約1.8m、そこから上に少しずつすぼめて復元し、最上部は1.6mの幅です。屋根はつきません。

坂詰委員長 屋根がない設計という前提ですね。この件については、藤井先生のご意見を受けてC案がよいということですね。壁の表面については先生方のご意見を聞かなくてよいのですか。

野中係長 C案は表面を塗るのではなく積んでいきます。塔跡2の版築や金堂跡の版築を参考に、黒い土とロームを交互に積み、武蔵国分寺の版築にふさわしい色味で実際に積んでもらう予定です。先生方には色や幅の選択についてご意見いただきたいです。

坂詰委員長 煉瓦をつんだような形になるのでしょうか。その場合、どういう表現にするのか、先生方のご意見を伺った方がよいのではないですか。藤井先生には外側の面について何か聞いておられますか。

野中係長 本日藤井先生ご欠席のため、資料のみ送付しております。後日きちんとご意見を伺います。

坂詰委員長 壁面をどうするのか。藤井先生はこの件がご専門になります。地表面の実際の版築は残っていないため、残っていない部分を、どう表現するのか、藤井先生と相談してください。

佐藤委員 武蔵国分寺跡で版築築地塀を復元するのは国分寺市が初めてなので、しっかりと進めてほしいと思います。当初はしっかりと版築を積んで、コーナーを復元すればよいと思っていましたが、土の耐久性等で少し難しいということであれば、版築風にみえるような施工というものもありだと思えます。例えば、平城宮跡の朱雀門の東西の南面大垣の一定部分は積んでいますが、それから先は中が空洞になっていて、中に物が入られるようになっているので参考にしたらよいと思います。私が気になるのはコーナーを復元するのかということと、寄せ柱を表現してほしいということです。本当の版築はせき板とせき板の間を積んでいくため、築地塀の表面の壁にはせき板の木目が残ります。法隆寺の築地塀などでは木目を残しています。本当はそこまで表現してほしいですが、難しいのであれば、版築風で板目を表現してほしいところです。藤井先生にご指導受けながら進めてください。

また、1.4mの高さで上が平場だと、雨にあたって壊れてこないか、というところが不安です。屋根があれば問題ないと思うので、プラスチックでもいいので屋根をつけてみてはどうかと思います。また、現地に築地塀とはこういうものという写真

をかかげて看板をつけても、復元したものは、築地塀には小さいし、屋根もなく土の塊に見えるため、そのあたりのギャップを埋められる工夫をしてほしいです。

坂詰委員長　この復元は、築地塀版築のやり方がわかる表現にすることができれば面白くなると思います。そうでなくてさらっと塗ってしまうと今風の壁と同じになってしまいます。佐藤先生がおっしゃったことを頭に入れながら、藤井先生にご相談してください。酒井先生いかがでしょうか。

酒井委員　築地塀の復元について、雨風で下の方が痛んできて、やせ細ってしまい、それを修理していったら、経費がかかってしまった事例があります。その点、注意して進めてください。

坂詰委員長　先生方にいただいたご意見も含め、藤井先生のご判断を仰ぐということによろしいでしょうか。また、この点については、施工業者の判断も重要だと思いますので、その点も考慮して進めてください。

坂詰委員長　では、次進めさせていただきます。SB39 掘立柱建物跡の表示についてです。これは講堂の東のようなイメージで造るつもりですか。

野中係長　はい。

坂詰委員長　発掘で出てきているのは基礎の部分で、地表にあった瓦は飛んでしまっています。発掘で状況が分かっているのは、ほんの一部であるということを考えて造ってほしいところです。

鈴木委員　基本的な質問ですが、瓦が積んであるのは土留めをしているということですか。柱とはどういうことなのか、ここは一体どういうところなのか教えてください。

坂詰委員長　敷地内に高低差があるため、建物の一部を土留めにしています。

佐藤委員　西側に大きな土坑があって、西側の際のところに瓦積みがありました。寺院地で瓦が豊富にあったため、その瓦を土留めに転用したと考えています。3D 再現したレプリカで、利用者にこの迫力を見てもらうとよいと思います。

鈴木委員　それでは、コンクリートの壁で見切りをつけるのが気になってしまいます。

野中係長　見切りは必ずしもコンクリートにするのではなく、レプリカとそれ以外の区別がつけばよいと思っています。

鈴木委員　一般の人には今のように説明をしてもらわないと伝わらないので、説明板もつけてください。

酒井委員　敷地内の土坑の周辺が桶状になっていたことから、掘立柱建物を造ろうとした、という理解でよろしいでしょうか。

依田課長　発掘調査で、SB39 掘立柱の西側に併設した、深さ 1メートル以上の大型の土坑を発見しました。東側の壁沿いには、土留めという表現が適切かどうか、ということはありませんが、土坑の長さに相当する延長線上に瓦が積んであったということが分かっています。その土坑・瓦積み・建物は同時期のものという所見で発掘調査を終えています。

酒井委員 製鉄するためにその穴を利用していたのですか、穴は自然のものではないのですか。

依田課長 自然のくぼみではなく、人為的に開けた穴です。そこに水をためて鍛冶等行っていたと推察します。

酒井委員 その全体を復元するということですか、それとも穴が開いている状態を復元するということですか。

野中係長 レプリカとして復元するのは瓦積みの部分です。土坑は掘り込みとして立体的な表現はしますが、水が溜まらないように工夫をします。

坂詰委員長 土坑の意義付けとその機能、建物との相関関係はどういうものだったのかなど含め、見学者が理解できるようにしてください。土留めについては土坑に面したところをレプリカで再現するというご承認ください。また、配管で壊れたところや土管までは再現せず、その部分は瓦を積んでしまえばいいと思います。

坂詰委員長 それでは続いて敷地北側の植栽について、福嶋先生いかがでしょうか。

福島副委員長 指摘事項 4 点あります。1 点目、オカメザサは植えなくてもよいです。しかし、代替案のフッキソウは北日本にある植物で、中世に茶花として茶室の周囲に植えられた草です。手に入りやすいため事務局がフッキソウを選んだかと思いますが、奈良天平時代の地域の自然、そちらを活かすべきと思います。したがって、フッキソウを植えるべきでない判断します。2 点目、つつじは適切に密度管理しないとつるが絡んできます。密度管理に注意して配置すべきです。3 点目、落葉低木のところのガクアジサイ、ヤマハギ、ヤマブキを混ぜて配置している点が気になります。4 点目、東側のヤマグワはこの地域一帯が荒れた時に鳥が運んできたものと考えます。そのため桜の園にヤマグワは残さなくてよいと思います。

坂詰委員長 植栽は成長するため、先を見て計画してください。武蔵国分寺跡にふさわしいもの、という点に気を付けて今後進めてください。

坂詰委員長 それでは以上で、審議事項終了とさせていただきます。

7. その他

坂詰委員長 その他、何かありますでしょうか。

依田課長 国分寺市立第四中学校に併設した展示施設について、老朽化や利便性が悪い施設という課題がありました。そのため、ストックヤード跡地に建設予定の多目的施設の中に文化財資料展示施設に相当するものを開館することになりました。開館は令和 10 年度中で、第四中学校の展示施設をこちらに移します。

坂詰委員長 それでは報告事項・審議事項終了とさせていただきます。渋谷主任調査官・岩井調査官・野口さん、最後にお一言ずつお願いいたします。

渋谷主任調査官 広くなった整備の維持管理については、全国的に大きな課題です。メンテナンスのところも考慮しながら、進めていただければと思います。引き続きよろしくお

願いたします。

岩井調査官 整備計画の段階で管理についても組み込んでいくことが必須の課題と認識しています。他の自治体でも多様な管理の在り方を、様々な地域特性を踏まえ模索いただいている段階です。文化庁としてもその点意識して情報を共有していきたいと思っています。

今回の審議事項について、補助事業的な整理の部分は再度都と文化庁にご相談いただければと思います。実施設計や成果品の変更に係ることをどのように落とし込むのかなど、こういったことは補助事業としての整理の在り方ともつながるので、方向性を一旦整理する必要があると思います。また展示機能、塔跡、インクルーシブなどの保存活用計画など、大きなマスタープランなどについて市・都とロードマップを作成する段階に入ってきているかと思っています。そちらについても適宜ご相談いただければと思います。

野口主任 草刈りはぜひ補助金でご対応いただきたいと思っています。調布市では草刈りにヤギを使っています。また、都内ではジャズイン府中とか、皇居ランニングとか目的を絞って参加者が来て、その場で楽しんで帰ってもらうイベントをやっているところもあります。また、都で思い出ベンチという、寄付をしてもらった方の名前を入れてベンチを修理するというものがあります。そういったことを参考にできないか、今日の話聞いていて思ったところです。

坂詰委員長 ありがとうございます。事務局、以上でよろしいですか。何かありますか。

諸橋課長 ございません。次回委員会の日程につきましては、改めて委員の皆様方と調整を図らせていただきます。

坂詰委員長 それでは、以上をもちまして一旦休会させていただきます。現地の視察を行います。よろしくお願いいたします。

8. 視察

9. 閉会

国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会委員名簿

任 期：No.1 令和7年5月26日から令和8年7月7日まで
No.2～10 令和6年7月8日から令和8年7月7日まで

No.	氏 名	住所	委員区分	略歴等
1	ながさわ 永澤 章 <small>あきら</small>	国分寺市	(1)号委員	武蔵国分寺史跡地地主会長
2	ほんだ 久保田 尚 <small>ひさし</small>	ふじみ野市	(1)号委員	埼玉大学名誉教授 日本大学客員教授 (交通計画)
3	さかい 酒井 清治 <small>きよじ</small>	松戸市	(1)号委員	駒澤大学名誉教授 (考古学)
4	さとう 佐藤 信 <small>のぶ</small>	港区	(1)号委員	東京大学名誉教授 (古代史学)
5	すずき 鈴木 誠 <small>まこと</small>	足立区	(1)号委員	東京農業大学グリーンアカデミー校長 東京農業大学名誉教授 (造園学)
6	のざわ 野澤 康 <small>やすし</small>	新宿区	(1)号委員	工学院大学建築学部まちづくり学科教授 (都市計画)
7	ふじい 藤井 恵介 <small>けいすけ</small>	杉並区	(1)号委員	東京大学名誉教授 (建築史学)
8	まつい 松井 敏也 <small>としや</small>	流山市	(1)号委員	筑波大学芸術系教授 (保存科学)
9	さかづめ 坂詰 秀一 <small>ひでいち</small>	国分寺市	(2)号委員	文化財保護審議会会長 立正大学特別栄誉教授 元立正大学学長 (考古学)
10	ふくしま 福嶋 司 <small>つかさ</small>	国分寺市	(2)号委員	文化財保護審議会副会長 東京農工大学名誉教授 (植物学)

国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会設置条例第3条第1項第1号＝識見を有する者、第2号＝国分寺市文化財保護審議会委員

定数：10人以内（国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会設置条例）

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行

見る / 学ぶ / 訪ねる /

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10

[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091

[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp

[HPアドレス]

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html>

2025.11
第58号



Temporary Exhibition



武蔵国分寺跡資料館 令和7年度秋季企画展

国分寺市では昭和49(1974)年以来、年間10～20件ほど遺跡の発掘調査をしています。本企画展は、令和3～4年度に行われた調査のうち、4か所の成果を展示します。本稿では、そのうちの2か所を簡単に紹介します。

武蔵国分寺跡第769次調査(西元町2丁目)では、平安時代の竪穴建物跡3軒と須恵器や瓦を転用した硯などが見つかり、その約40cm下からは縄文時代中期の竪穴建物跡2軒・縄文土器や石器などが見つかりました。この辺りは、国分寺崖線下の谷に近く、湧水を得られやすい土地で、先人たちの暮らしのあとが多く残されています。

JR国分寺駅北側の本町(国分寺村石器時代)遺跡の第22次調査(本町2丁目)では、ビルが建ち並ぶ商業地のすぐ近くから縄文時代の竪穴建物跡2軒と、完形に近い縄文土器が見つかりました。

出土資料の展示に加え、遺跡の調査を身近に感じてもらえるよう、発掘調査・整理作業に使用する道具の展示や、今後活用が期待される「遺跡地図GIS」についてもあわせて紹介します。(酒井美帆)

発掘された国分寺市 2025

■開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時45分まで)

■期間 令和7年10月18日(土)～12月7日(日)

■会場 武蔵国分寺跡資料館 講座室

■入館料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要

■休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)



本企画展で紹介する調査

- ・武蔵国分寺跡第769次調査：西元町2丁目
- ・武蔵国分寺跡第770次調査：泉町2丁目
(新庁舎建設地)
- ・武蔵国分寺跡第776次調査：東元町3丁目
(リオン株式会社敷地内)
- ・本町(国分寺村石器時代)遺跡第22次調査
：本町2丁目

縄文早期の土器



武蔵国分寺跡第776次調査

縄文中期の土器



本町(国分寺村石器時代)遺跡第22次調査



武蔵国分寺跡第770次調査

小林謙一（中央大学文学部教授）

近年、レプリカ^{あっこん}圧痕法とよばれる、土器器面に残る痕跡（有機物が含まれていた跡の空洞）に樹脂を流し込んで型取りし、その型を走査型電子顕微鏡で観察することで種類を同定する手法が発達し、各地の先史時代の土器に含まれる植物遺体や昆虫などを抽出する手法が行われるようになってきた。その結果、縄紋時代中期を中心に縄紋土器には、栽培種の大きさに相当するマメ類や、コクゾウムシなどの痕跡が見いだせる例が増え、日本先史時代の新たな姿が分析されつつある（小畑 2016 など）。

恋ヶ窪遺跡第 115 次調査 SI186J 住居跡から、埋甕^{うめがめ}としてほぼ完形で出土した縄紋中期加曽利^{かそり} E2 式期の連弧文系（新地平編年 11c2 期）深鉢形土器に表出 9 例および CT スキャンにより検出された潜在圧痕を含め現時点で 26 例のシソ属およびミズキの多量圧痕が確認され、そのミズキの圧痕内から微量有機物が採取されミズキ核と同定された。東京国立博物館にて宮田が CT 撮影を行い、17 例の潜在圧痕をみつけた。大きさ・形状からミズキおよびシソ属と考えられる。

その中の表出圧痕の一つにおいて残存炭化物が抽出された。3 mg の重量で、佐々木によりミズキの核と同定できた。その試料を国立歴史民俗博物館年代測定実験室において通常よりも少ない手順で AAA 処理^{*}を行ない、回収した試料を東京大学年代測定室において、微量炭素用のプロトコル（大森ら 2017）にてセメント^{*}を生成し、AMS 法による炭素 14 年代測定（AMS 測定^{*}）をおこなった。その結果（測定番号 TKA-29254）は炭素 14 年代で 4172 ± 22 BP、AMS による同位体補正の $\delta^{13}C$ 値 -27.6 ± 0.3 ‰ であった。IntCal20^{*} と OxCal^{*} 4.4 を用いて^{こつせい}較正年代を計算すると、4850(20.3%)4785,4765(75.1%)4615 cal BP、すなわち 1950 年から数えて 4750 年前頃の可能性が最も高い結果となった。土器の年代とこれまでの小林による年代測定値はよく合致し、その土器の製作時の年代を表す年代と捉えられる。これまでも縄紋中期後半のミズキが混和される土器は、複数確認されている。土器製作時のミズキの利用を表す、直接的な炭素 14 年代測定は初の事例となった。

表出圧痕を観察すると、9 例の内 7 例（さらにそのうちの 5 例が土器外面）はミズキと捉えられ、うち数例は、連弧状の沈線や、地紋^{はんさいちつかん}の半截竹管平行沈線の上からミズキが押し込まれており、施文後の意図的な圧痕の可能性が考えられる。それらの圧痕は、半分程度を土器の中に残す様に観察され、土器胎土に混和されていたミズキが外面に顔を出すとこのような状況ではないと観察され、圧痕周辺にはざた様な細かい傷跡やめくれたような痕跡はなく、沈線も圧痕を挟んできれいに残っている。さら

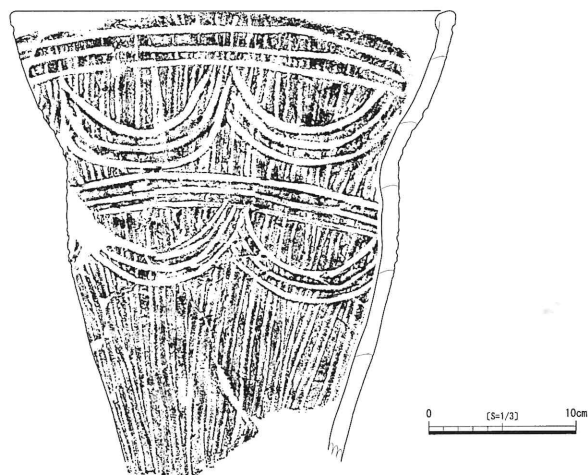
に少なくとも 1 点は、土器内面に上から手を添えて指を押し当てた跡が残り、その外面に表出圧痕が沈線を切る形で残されているのである。

以上の状況より、先に小林らが報告した府中市清水が丘遺跡勝坂式土器（小林ほか 2021）に続く、意図的な圧痕を持つ土器である可能性も指摘できる。今後、検討を進めていきたい。

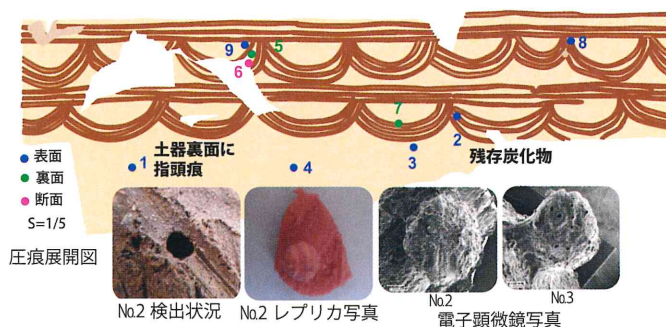
分析関係者：西本志保子、奈良部大樹、小林尚子、佐々木由香、宮田将寛、米田 穰、尾寄大真、大森貴之
協力：国分寺市教育委員会・(株)CEL・国立歴史民俗博物館。なおミズキの多量圧痕例については日本文化財科学会においてポスター発表を行った（小林ほか 2025）。

【参考文献】

- ・大森貴之ほか 2017 「微量試料の高精度放射性炭素年代測定」第 20 回 AMS シンポジウム
- ・小畑弘己 2016 『タネをまく縄文人 最新科学が覆す農耕の起源』吉川弘文館（歴史文化ライブラリー）
- ・国分寺市教育委員会 2023 『恋ヶ窪遺跡（第 115 次調査）』
- ・小林謙一ほか 2021 「縄紋中期土器文様装飾時におけるダイズの意図的混和例」『日本考古学協会第 87 回総会研究発表要旨』
- ・小林謙一、西本志保子、奈良部大樹、小林尚子、佐々木由香、宮田将寛、米田 穰、尾寄大真、大森貴之 2025 「土器包埋植物遺体の検出と年代測定 - 縄紋時代の多量圧痕土器の一例 -」『日本文化財科学会第 42 回大会研究発表要旨集』



恋ヶ窪遺跡第 115 次調査 SI186J 埋甕（国分寺市 2023）



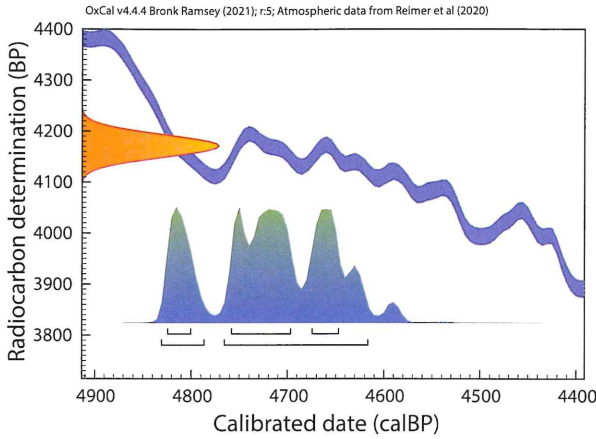
土器への圧痕の位置とレプリカ

土器の外側や内側に 9 か所の圧痕が認められ、レプリカを採取して電子顕微鏡で確認すると、粘土に混ざっていた植物であるミズキやシソ属の跡と確認された。

表出圧痕一覧

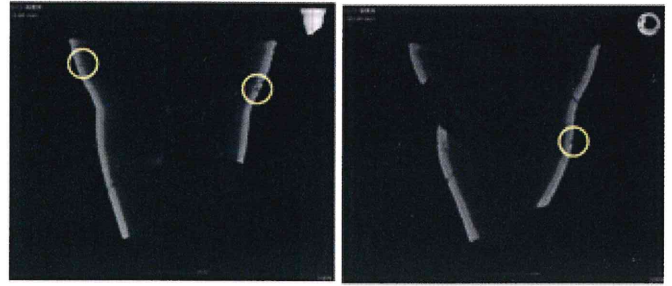
1	KKO-R009	外面	ミズキ	果実?
2	KKO-R010	外面	ミズキ	核
3	KKO-R011	外面	ミズキ	核
4	KKO-R012	外面	ミズキ	果実
5	KKO-R013	内面	ミズキ	核
6	KKO-R014	断面	ミズキ	核
7	KKO-R015	内面	不明	ミズキの可能性
8	KKO-R016	外面	シソ属	果実
9	KKO-R017	外面	ミズキ	核

検出圧痕一覧 (表出圧痕)



包埋炭化物 (ミズキ核) の較正年代確率密度分布 (IntCal20, OxCal4.4)

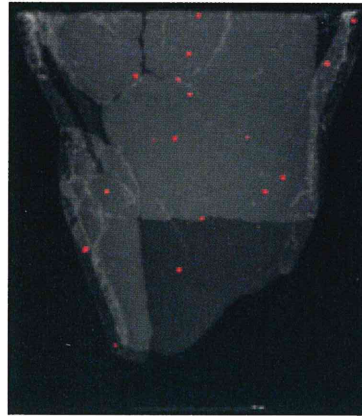
約 4800 年前から 4650 年前頃の可能性があるが、確率的には 4750 ~ 4700 年前頃の可能性が最も高い。



装置: エクストロン社製大型CT X線管: Y.TU600-D02 検出器: Y.XRD1621
電圧: 550kV 電流: 1.25mA プロジェクション数: 2070 画像構築解像度: 約 0.26mm

CT スキャン写真

丸く囲った部分に潜在圧痕が確認できる。



CT 撮影画像からモデリング

CT スキャン画像を重ねて、空洞部を赤く彩色した画像。合計 26 点の植物遺体が確認できた。

AAA処理*: 土壌成分からの汚染除去のために酸-アルカリ酸で洗浄する処理。

セメントタイト*: 鉄と炭素の化合物。

AMS測定*: 加速器重量分析法 (Accelerator Mass Spectrometry) を用いた放射性炭素年代測定法。

同位体*: (isotope) 同一元素番号を持つものの中性子数 (質量数A-原子番号Z) が異なる核種の関係。

IntCal20*: 放射性炭素年代測定法で年代を較正するための、2020年に改訂された最新の国際較正曲線。

OxCal*: オクスフォード大学が作成した、ベイズ統計による較正用プログラム。

較正年代*: 炭素14年代を、年輪年代や湖沼堆積物などと照合し、より実年代に近づけた年代。

令和7年度 夏季企画展開催報告

令和7年7月25日から9月15日まで、企画展「学校ができたー昭和の記憶と国分寺市ー」を開催しました。この展示では、第一小学校から第十小学校までの校舎・プール・体育館の建設風景や、入学式・運動会など学校行事の様子、さらに盆踊りや成人式など、学校が地域の集いの場であった昭和時代の記録写真を展示しました。

また、民俗資料室に所蔵する足踏みオルガン、木製の学校机、授業の区切りに使われた時鈴、セルロイド製の筆箱やアルマイト製の弁当箱などを展示し、昭和の教室の雰囲気を再現しました。

さらに、国分寺市内の小中学校15校のうち6校の校歌 (第一小から第四小学校、第一・第二中学校) を作曲した音楽家・信時 潔を紹介。信時が作曲した「電車ごっこ」・「一番星みつけた」は、現在、国分寺駅・

西国分寺駅の発車メロディとして使用されており、この展示では二次元コードを通じてスマートフォンで試聴できるようにしました。

館内のデジタルサイネージでは、学校と地域をつなぐ「国分寺学」の取り組みや実践報告を放映しました。

(相澤 勝)

アンケート・来館者の感想より

- ・「小学生の頃の自分を写真の中に見つけた。」
- ・「懐かしい記憶がよみがえった。」
- ・「まだ展示されてない他の写真も見たい。国分寺に戻りたくなった。」
- ・「五小の同窓生と一緒に来館した。」

またこうした企画を開催してほしい。」



昭和40年(1965)第五小学校の教室を背景とした足踏み式オルガン、学校机、椅子



昭和33年(1958)から昭和57年(1982)までの学校と地域の記録写真70枚



書籍「アルバム国分寺」を囲み、昭和時代の写真を懐かしむ来館者

令和7年度 歴史講演会 *事前申込 (先着) 無料



「国分寺の狩人たちー旧石器時代から縄文時代へー」

市内にある旧石器時代・縄文時代の代表的な遺跡を取り上げながら、時代の特徴と当時の人びとの暮らしを紹介します。

【日 時】11月30日(日)午後2時～4時
(開場は午後1時30分)

【講 師】上敷領 久 (元駒澤大学非常勤講師)

【場 所】本多公民館ホール (国分寺市本多 1-7-1)

【定 員】100名

【申 込】右LoGoフォームから (こちら→)

【受 付】締切は、11月24日(月)まで
定員になり次第、締切らせていただきます。

【問合せ】国分寺市教育委員会ふるさと文化財課
電話042-312-8683 (月～金・午前9時～午後5時)



後援事業のお知らせ

*事前申込 無料



「武蔵国分寺と自然災害 古代史・考古学・災害史」
平安時代全般に相次いで東国を襲った地震などの自然災害、遺跡に残された痕跡、書き残された記録、古代社会の動揺と対応について、考古学と文献史学の専門家が解説します。

【日 時】令和8年1月10日(土)午後1時30分～4時30分
(開場は午後1時)

【講 師】荒井秀規 (国分寺市史編さん推進委員会委員)
宮原正樹 (埼玉県立さきたま史跡の博物館学芸員)

【場 所】都立多摩図書館 セミナールーム 1

【定 員】80名

【申 込】右Peatixから (こちら→)
<https://kodai3dgis1.peatix.com/view>

【主 催】古代寺院3D-GIS科学研究グループ

【問合せ】野口 淳 atsushi.noguchi@komatsu-u.ac.jp



第38回 多摩郷土誌フェア

*入場無料



多摩地域の郷土・歴史・文化財・自然に関する様々な図書を展示販売します。

【日 時】令和8年

1月17日(土) 午前10時～午後5時

1月18日(日) 午前10時～午後3時

【会 場】立川市柴崎学習館 (立川市柴崎町 2-15-8)
地下ホール/JR立川駅南口より徒歩9分。または、多摩モノレール立川南駅より徒歩8分。
※公共交通機関をご利用ください。

【主 催】東京都社会教育課長会文化財部会

来館者数

2009年10月18日～2025年9月末日

来館者数累計 多くのご来館ありがとうございました

208,478名

【4月～9月の学校見学】

	学校	人数
小学生	7	502
中学生	1	3
高校生	1	3
大学生	2	4

【来園校】市立一小(6年生)、市立四小(6年生)、市立六小(6年生)、市立七小(6年生)、市立十小(3,6年生)、東京電機大学中学校・高等学校、東京経済大学、日本大学

月	来館者数	開館日数
4	1,232	26
5	1,341	27
6	913	25
7	620	27
8	787	27
9	973	25
計	5,866	157

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】JR国分寺駅下車/徒歩約20分 ◎JR西国分寺駅下車/徒歩約15分

【バス】国分寺駅下車

- 「国分寺駅西」より国分寺市地域バス『ぶんバス』
万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分
 - 「国分寺駅南口」より「京王バス」
系統番号<寺83>・<寺85>乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分
- 西国分寺駅下車
- 「西国分寺駅東」より国分寺市地域バス『ぶんバス』
万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分

※駐車場はありません

■開館時間

午前9時～午後5時 (入園は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)
一般……………100円(年間パスポート1,000円)
中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- (1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
 - (2) 身体障害者等及びその介護者が入園するとき〔券売窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページ
二次元バーコード

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行

見る／学ぶ／訪ねる／

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
【電話】 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp
【HPアドレス】
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2026.2
第59号



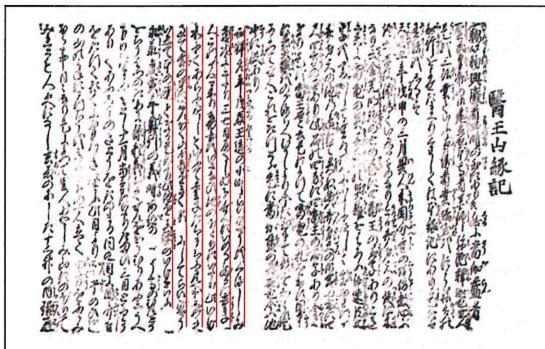
12年に一度の真姿弁財天ご開帳 (東京都指定名勝 真姿の池湧水群)



真姿弁財天 (2022年撮影)

都指定名勝で市民の憩いの場としても大切にされている真姿の池湧水群。環境省選定名水百選、東京の名湧水 57 選の1つでもある湧水群に隣接した真姿の池の中島に、「医王山縁起」の中で「宮」と記された祠があり、一般に芸能の神様、水の神様として信仰されてきた弁財天が祀られています。

寺社の創建の由来や霊験話を記した「医王山縁起」には、真姿の池の名前の由来も紹介されています。その部分を意識すると「嘉祥元年(848)、病に苦しんだ玉造小町が国分寺へ訪れ二十一日間薬師如来の前で祈りを捧げた。すると一人の童子が現れて池に案内し、池で身体を清めるよう伝えて姿を消した。しばらくすると祠の中から音楽の響きが聞こえてきた。まもなくして、小町の重い病は治り、真の美しい姿に戻った。



「医王山縁起」

赤線を引いた部分に「真姿の池」の伝説について書かれています。建武2年(1335)7月の年記がある「医王山縁起」の版木は武蔵国分寺跡資料館の展示室2に展示され『国分寺市史料集(III)』に翻刻を掲載しています。



真姿弁財天ご開帳当日 (2025年11月8日撮影)

このことから、この池は真姿の池と呼ばれるようになった。」とあります。

現在の祠は昭和52年(1977)に旧来の建物規模を踏襲して再建したと考えられ、池の弁財天は国分寺の薬師如来と結びつけて信仰を集めました。玉造小町のいわれから病気平癒の祈願や美人祈願に人びとが訪れるだけでなく、江戸時代の終わり頃からは養蚕を行う人びとにも盛んに信仰されました。弁財天の使いである白蛇が蚕を食べるねずみの天敵だからです。

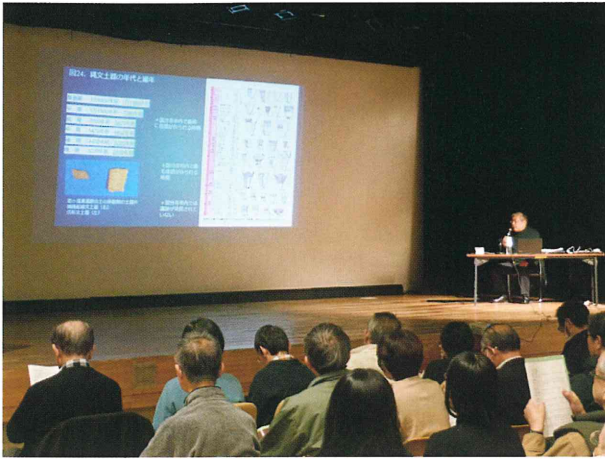
弁財天の開帳の記録は古く安政5年(1858)の記録が残り、明治14年(1881)には開帳に合わせて芝居興行がでるほど賑わいをみせたことがわかります。

江戸時代後期から現在に至るまで、開帳は祠を大切に管理し保存してきた所有者様が12年ごとの巳年に行い、厨子に納めた本尊・弁財天が公開されてきました。

ご開帳の年にあたる令和7年、所有者様を中心に実行委員会が結成され、11月8日(土)・9日(日)にご開帳と真姿音楽祭と銘打つコンサートを実施しました。9日におたかの道湧水園で予定していた野外コンサートはあいにくの雨のために国分寺市役所のロビーに場所を移しましたが、たくさんの観客が集まり奏者の音楽を楽しみました。ご開帳は二日間にわたり、国分寺市・国分寺市教育委員会・国分寺市観光まちづくり協会の共催のもと、市民をはじめ約2000人が訪れました。普段は静寂に包まれている真姿の池周辺は、この貴重な機会に本尊弁財天の姿をひと目見ようとする人びとで大きな賑わいをみせました。(渡邊 典子)



歴史講演会「国分寺市の狩人たち」開催報告



市内出土の土器を紹介する上敷領氏

令和7年11月30日に、旧石器時代の専門家であり市内の遺跡調査にも豊富な経験を持つ上敷領^{かみしきりょうひさし}久氏を講師に迎え、歴史講演会「国分寺の狩人たち」を開催しました。旧石器・縄文時代をテーマとした今回の講演には、多くの方が関心を寄せ、140名もの参加がありました。

講演では、ご自身が携わった発掘現場の写真や図版をスライドで紹介し、国分寺市域の地理的特徴や、各時代の環境、当時の人々の暮らしについて分かりやすく解説していただきました。講演を通して、このまちに暮らし

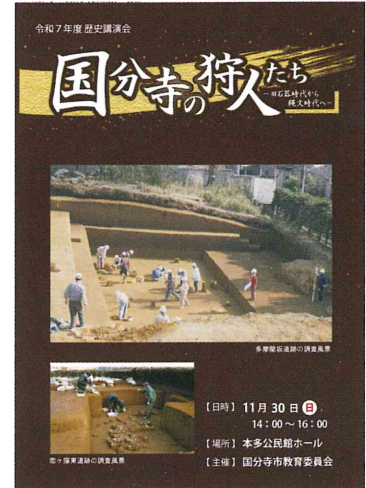
た先人たちの姿が浮かび上がりました。また、質疑では、石器の産地分析をはじめ、多喜窪遺跡の集落の範囲、遺跡と湧水源との関係など多様な視点から質問が寄せられ参加者の関心の高さがうかがえました。

【参加者アンケートより】

・思った以上に多くの遺跡があり驚きました。まだまだ調査の余地がたくさんあるとの事で、これからの動向にも注目していきたいと思います。(30代)

・旧石器・縄文時代の多くの遺跡の紹介をしてくださって全体像がつかみやす

かったです。石器の変化、土器の変化、生活様式の変化等、豊富な発掘体験からお話くださり大変勉強になりました。是非現地を歩いてみたいと思いました。(60代)



配布資料

秋季展示「発掘された国分寺市 2025」開催報告

武蔵国分寺跡資料館では、これまで「発掘された国分寺市 2021」「同 2023」として発掘調査の成果展示を行ってきました。今年度は、令和3～4年度に実施された発掘調査の成果を紹介する秋季企画展「発掘された国分寺市 2025」を、令和7年10月18日から12月7日まで開催しました。

小学生の校外学習で資料館を訪れた子どもたちは、身近な場所に遺跡があることに驚いたり、発掘調査で使う道具や、普段は目にすることのない計測器に興味津々の様子でした。また、今年度は新たな取り組みとして、館内のデジタルサイネージで遺跡地図 GIS を用いた市内遺跡の分析事例を紹介しました。分析事例の提供は、「考古学ビッグデータの統合と3D-GISによる古代寺院立地・造営・景観論」※を研究されている野口淳氏（公立小松大学次世代考古学研究センター特任准教授）にご協力いただきました。

発掘調査で見つかった遺物は、報告書にまとめられた後収蔵庫で保管されるため、一般の方が目にすることは多くありません。今後も、調査成果を広くお伝えする展示を定期的で開催していきたいと考えています。(酒井 美帆)

※日本学術振興会科学研究基盤研究 (B)24K00142



発掘調査の道具の紹介



デジタルサイネージコーナー

「昔のくらしと道具」炊事にまつわる道具

小学3年生は3学期に「昔のくらしと道具」を学び、地域で使われていた昔の道具に触れる機会があります。本号では、かまどや釜など、炊事に使われていた道具をご紹介します。

多摩地域の農村では、電気やガスが普及する以前、各家庭でかまどや囲炉裏を使って煮炊きをしていました。お米を研ぐときには、土間の一角に設けられた「流し」を使い、水道がなかった時代には、その横に置いた水甕に井戸から汲んだ水をためて利用しました。お米を研いだあとは、胴部に羽状の縁がついた釜をかまどに掛け、木製の蓋をして炊きます。市内の一般的な農家では、土間に土製のかまどが据えられており、ヘツツイとも呼んでいました。戦後になると、生活改善の取り組みの中で煙突を備え、燃焼効率を高めた改良かまどが広く使われるようになりました。

炊き上がったご飯は蒸らしたあと、木製のおひつ（またはオハチ）に移します。寒い季節には、稲藁で編んだおひついれ（オハチイレ）に入れることで、ご飯のあたたかさを保つことができました。

本号で紹介した、釜、おひつ、おひついれの3点は、



釜

かまどに架けられるように羽がついていることから羽釜とも呼ばれる



おひつ

炊き上がったお米をいれておく容器、スギやヒノキが使われ適度な水分を保つことができる

国分寺市民俗資料室（国分寺市本多5丁目）に保管・展示しています。（酒井 美帆）

【参考文献】

- ・国分寺市教育委員会市史編さん室編集・発行『国分寺市の民家』1996年
- ・小川直之ほか編著『多摩民具事典』たましん地域文化財団、1997年
- ・小泉和子『新装版 昭和台所なつかし図鑑』平凡社、2023年

【国分寺市民俗資料室】

見学は事前申込制です。見学希望日の3日前までに電話にて。申込先：042-323-4103（武蔵国分寺跡資料館）



かまど（旧加藤家：多摩市）

煮炊きをするための設備、粘土質の土と藁をまぜてつくられる



改良かまど（『国分寺市の民家』より）

排煙用煙突、燃料を支える部分の改良などで熱効率を高めたかまど



おひついれ

保温を目的とした容器、おひつを入れ隙間に布団や毛布を詰めて使う

INFORMATION

市史編さん 歴史講演会「古代国分寺の謎」



国分寺とはいかなる寺院なのか。国分寺の始めと終わり、真の建立発願者、建立の目的など、広く全国の国分寺の動向から、武蔵国分寺について考える講演会を開催します。

【日 時】令和8年3月1日（日）午後2時～4時

【講 師】荒井 秀規（明治大学兼任講師）

【場 所】リオンホール（国分寺市本町 3-1-1）
cocobunji WEST 5階（cocobunji プラザ内）

【定 員】150名

【申 込】右LoGoフォームから（こちら→）
定員になり次第、締切らせていただきます。

【問合せ】国分寺市教育委員会市史編さん室
電話 042-571-7815（月～金・午前9時～午後5時）



東京都公文書館・市教育委員会共催 ミニ企画展



国分寺市域の小学校の成り立ちを紹介するミニ展示を開催します。東京都公文書館が所蔵する公文書、市域に残る資料などを展示します。

【開催期間】令和8年3月21日（土）～5月19日（火）
午前9時～午後5時（最終入場は午後4時30分）

【会 場】東京都公文書館
常設展示室及び研修室周り壁面展示コーナー

【休館日】日曜日・祝日、3月31日（火）、4月15日（水）

【入館料】無料

【問合せ】東京都公文書館
電話 042-313-8450（月～土・午前9時～午後5時）

史跡地最寄りの公衆トイレを改修しました

国分寺墓地に隣接する公衆トイレの改修工事が令和7年8月31日に完了し、ご利用いただけるようになりました。



来館者数

多くのご来館ありがとうございました

2009年10月18日～2025年12月末日

来館者数累計 213,109名

【10月～12月の学校見学】

	学校	人数
小学生	10	1,054
中学生	2	8
高校生	2	21
大学生	4	45

月	来館者数	開館日数
10	1,618	27
11	2,209	26
12	804	24
計	4,631	77

【来園校】市立一小、二小、三小、四小、六小、七小、八小、九小、十小（6年生）、板橋四小、市立二中（1年生）、東京電機大学中学・高等学校、創価高校、東京経済大学、大正大学、淑徳大学、聖徳大学

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

※駐車場はありません

【電車】○JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】国分寺駅下車

- 「国分寺駅西」より国分寺市地域バス『ぶんバス』
万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約8分
- 「国分寺駅南口」より「京王バス」
系統番号〈寺83〉・〈寺85〉乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
- 西国分寺駅下車
- 「西国分寺駅東」より国分寺市地域バス『ぶんバス』
万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約8分

開館時間

午前9時～午後5時（入園は午後4時45分まで）

休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日から1月3日まで）
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）

一般……………100円（年間パスポート1,000円）

中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- (1) 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき（事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。）
- (2) 身体障害者等及びその介護者が入園するとき
〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
- (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき
〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕

※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



ホームページ
二次元バーコード

史跡武蔵国分寺跡

桜

ライトアップ

スポットライトに照らされた桜の木々が
今年も夜の静寂を彩ります

Spring Light up 2026

3/20

金



4/5

日

18:00 - 20:30

会場 国史跡 武蔵国分寺跡 (国分寺市西元町2-1・2)

アクセス | JR「西国分寺駅」から徒歩15分
JR・西武線「国分寺駅」から徒歩18分

※会場に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

協賛 | 国分寺市商工会、国分寺マルイ
株式会社JR中央線コミュニティデザイン セレオ国分寺
nonowa西国分寺、JR東日本 国分寺駅
西武信用金庫 西国分寺支店、多摩信用金庫、東京経済大学
東京国分寺ライオンズクラブ
東京国分寺ロータリークラブ
東京むさし農業協同組合 国分寺支店
株式会社日立製作所 中央研究所

主催 | こくぶんじ観光まちづくり協会
【お問い合わせ】042-326-0202

後援 | 国分寺市・国分寺市教育委員会



こくぶんじ観光まちづくり協会HP

イベント情報

3/20(金祝)~4/5(日) キッチンカー出店



いろんなキッチンカーが日替わりで出店します!
出店時間や出店店舗情報はこちらから

(随時更新)→



3/28(土) 史跡桜まつり with AnnBee

10:00~16:00



©ホットプロジェクト

ホッチも来るよ!



和太鼓 奏者
近藤玲未さん
国分寺在住

- ・パフォーマンス ※雨天時は4小のホールでひだまりホールで開催
- 和太鼓・キッズやインドネシア舞踊・ムエタイパフォーマンス
- ・ワークショップ
- ネイルアート・けん玉・べんがら染め
- ・キッズコーナー
- スーパーボール その他
- ・遊びの体験やポンプ車も来るよ!



ムエタイ

AnnBeeダンス部



- ・飲食店舗
- 丸愛の里芋コロッケ・団子・おにぎり・綿あめ・ポップコーン・餅パイ
- ・キッチンカー
- タイ料理・ピザ・カレー・たこ焼き・ホットドック・たい焼き・大判焼き
- クレープ・ジェラート・ケバブ・ワサビ丼・お好み焼き・ビールなど

※急遽、出店者の変更の場合あり

第47回こくぶんじ写真コンクール入選作品展示

日時: 令和8年3月20日(金)~29日(日)9:00~17:00 最終日13:00終了

場所: 国分寺市役所 1階 多目的スペース

Free Event 春かおる、立川、国立、国分寺

Sakura Digital Stamp Rally
Tachikawa, Kunitachi, Kokubunji

2026

桜デジタルスタンプラリー

3/20 Fri ~ 4/12 Sun

中央線沿線3市の桜、周辺スポットを巡り、
スタンプを集めて豪華賞品を手に入れよう!

到達スポット数以上のスタンプを寄せば、
どの賞品の受賞対象にもなります

START

「中央線と暮らす」アプリをダウンロード

3市に登録された各スポットへ行くこ!

登録されたスポットでアプリを開きスタンプ!

期間中、スタンプを貯めた後、簡単なアンケートに答えてプレゼントへ応募!

4/4(土) ダジックアース

18:30~ ※雨天中止

お問い合わせ

一般社団法人 こくぶんじ観光まちづくり協会

〒185-0023 国分寺市西元町1-13-10 武蔵国分寺跡資料館2階 ☎ 042-326-0202

史跡

桜まつり

2026.3.28(sat)
10:00~16:00
史跡武蔵国分寺跡
国分寺市西元町 2-1・2

アクセス

JR 西国分寺駅から徒歩 15 分
JR・西武線 国分寺駅から徒歩 18 分

※会場に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
駐輪場はご用意しております。

ステージ

和太鼓・キッズダンス
インドネシア舞踊
ムエタイパフォーマンス



和太鼓
来-RHY-



ぶんじぼたる
ホッチも
来るよ〜

キッチンカー

pizza・タイ料理
わさび丼・ケバブ
フードとスイーツ

キッズコーナー

昔あそび・モルック
ヨーヨーつり・けん玉
大型コリントゲーム

ワークショップ

ネイルアート・アクセサリー
べんがら染め・整体

飲食店舗

丸愛の里芋コロッケ・団子
おにぎり・綿あめ・もちパイ



こどもも おとなも みんなで楽しもう!

AnnBeeダンス部

わくわく

謎解きラリー
先着
200名様
景品あります



前日こくぶんじ観光まちづくり協会 HP より開催予定を告知いたします
雨天:中止 雨天:ステージは国分寺市立第四小学校 ひだまりホール お問い合わせ:042-326-0202 当日080-9192-7941



こくぶんじ観光
まちづくり協会

with

AnnBee

国分寺の
スマイルを
創り出す...

後援: 国分寺市 国分寺市教育委員会 国分寺市社会福祉協議会 協力: 東京経済大学 国分寺市国際協会
協賛: 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン セレオ国分寺 nonowa 西国分寺 / 株式会社アローズ / 株式会社ネクストウェブ / 松本園製茶工場 / 株式会社多摩電業
株式会社エス・エイ・プラン / 株式会社協立防災工業 / 鈴木造園株式会社 / 多摩信用金庫国分寺南口支店 / 有限会社鈴木栄太郎商店 / 株式会社セーワ建築工房
しむら青果 / 立川臓器株式会社 / 永野印刷株式会社 / JA 東京むさし国分寺国分寺市商工会 / ALSOK 株式会社多摩支社 / 大国自動車工業株式会社

ステージタイムスケジュール-STAGE TIME SCHEDULE-

10:00 ~ オープニング太鼓

・来賓挨拶

10:20 冒険遊びバンドBAB

10:55 AnnBee ダンス部 AnnBee ダンス部

11:30 和太鼓 来-RHY- ワークショップ

12:40 ムエタイパフォーマンス

13:15 はたらきバンド

13:50 キッズダンス IRODORI

14:20 BUNJOVI

14:50 国分寺連 阿波踊り

15:20 インドネシア舞踊

15:45 フィナーレ AnnBee ダンス部

15:55 閉会式

※当日の進行状況により、各団体のスタート時間が前後する場合がございます。予めご了承ください。



※雨天の場合 ステージは国分寺市立第四小学校の「ひだまりホール」にて行います。

※エコバック・ごみ袋はご持参ください。

※飲食スペースではレジャーシート等
ご使用いただけます。

キッチンカー

カレー・焼きそば・タイ料理・PIZZA・わさび丼
たこ焼き・たい焼き・ジェラート・クレープ



飲食店舗

コロック・だんご・おにぎり・沖縄そば
フランクフルト・ガーリックチャーハン・かき氷
わたあめ・ポップコーン・駄菓子・JA こくベジ

ワークショップ

べんがら染め・アクセサリー・ネイルアート・整体

キッズコーナー

大型コリントゲーム・昔遊び・モルック
こくスマ謎解きラリー・駅員さんになれるよパネル
木でつくろう・けん玉・ヨーヨーつり

AnnBee SHOP

もちパイ・ドーナツ・飲物・陶器・べんがら染め・さき織
こくぶんじ観光まちづくり協会
ホッチグッス

ポンプ車

国分寺市消防団第一分団

展示

国際協会・AnnBee



Free Event

春かおる、立川、国立、国分寺

Sakura Digital Stamp Rally
Tachikawa, Kunitachi, Kokubunji

2026

桜デジタルスタンプラリー

3/20 Fri ~ 4/12 Sun

到達スポット数以上の
スタンプを押せば、
どの賞品の受賞対象にもなります

START

中央線沿線3市の桜、周辺スポットを巡り、
スタンプを集めて豪華賞品を手に入れよう!



「中央線と暮らす」
アプリをダウンロード



3市に登録された
各スポットへ行こう!



登録された
スポットでアプリを
開きスタンプ!



期間中、スタンプを貯めた後、
簡単なアンケートに答えて
プレゼントへ応募!

30
スポット

全スポットの
スタンプを集めた方の
中から抽選

コンプリート賞



2組
ホテルエミシア東京立川
ペアランチチケット
※写真はイメージ

20
スポット

20スポットの
スタンプを集めた方の
中から抽選

ヤクルト賞



5名額
「ラクトデュウシリーズ」
S.E.ローション1/
S.E.ミルクセット

MAO RINK
TACHIKAWA TACHIHI賞



10名額
MAO RINK
TACHIKAWA TACHIHI
ペア一般滑走招待券

15
スポット

15スポットの
スタンプを集めた方の
中から抽選

中央線と暮らす賞



5名額
中央線ビアワークス
クラフトビール
3種詰め合わせ

10
スポット

10スポットの
スタンプを集めた方の
中から抽選

LUMINE 立川賞



5名額
Loveco
サステナブル
テキスタイルフラワー

5
スポット

5スポットの
スタンプを集めた方の
中から抽選

国立賞



10名額
旧国立駅舎
焼き菓子アソート

立川賞



10名額
立川公認お土産品
「タマとぼく」
FROM TACHIKAWA

国分寺賞



10名額
国分寺史跡めぐり てぬい
カラー:紺・黄色

LUMINE TACHIKAWA

HAPPY SPRING GIFT

春の空、見上げてふわり。今、贈ろう。

ルミネ立川の春のギフト

WEBで詳細

100

国立駅100周年
KUNITACHI STATION 100th ANNIVERSARY
1926-2026



詳しいマップはアプリ「中央線と暮らす」からご覧ください

※イベント開催日近くから公開予定です



アプリ「中央線と暮らす」の
ダウンロードはこちら▶



イベント詳細は
特設ページをご覧ください
詳しくはこちら▶



主催:まるたまプロジェクト連絡協議会
(立川観光コンベンション協会・国立市観光まちづくり協会・
こくぶんじ観光まちづくり協会)

後援:立川市・国立市・国分寺市

協力:国立市商工会 くにたち文化・スポーツ振興財団 国立商工振興(株)
国立市商業協同組合 立川商工会議所 立川市商店街振興組合連合会
国営昭和記念公園 イマタマ 国分寺市商工会
JR東日本 立川統括センター ルミネ立川

令和 7 年度史跡保存整備工事について

工事件名：史跡武蔵国分寺跡（僧寺地区）第一期整備工事
（中枢部周辺地区〔南門地区〕）第二工区その 4

工 期：令和 7 年 6 月 6 日から令和 8 年 2 月 27 日

竣工検査：令和 8 年 3 月 6 日



中枢部区画施設平面表示（西から）奥が R7 施工



中枢部区画施設平面表示（南東から）



伽藍地区画溝の半立体表示（西から）



伽藍地区画溝の半立体表示（北から）



遺構解説板（伽藍地区画溝）



四阿（南から）

※文化財倉庫解体について

昭和 50 年代から南門地区内に残置されているプレハブ倉庫について、周囲の史跡整備完了に伴い、倉庫内の市内遺跡出土品収納コンテナを移転し倉庫の解体を行う。

<スケジュール（予定）>

出土品収納コンテナの移転 3月中

文化財倉庫の解体 4月中

解体後の整地 5月中



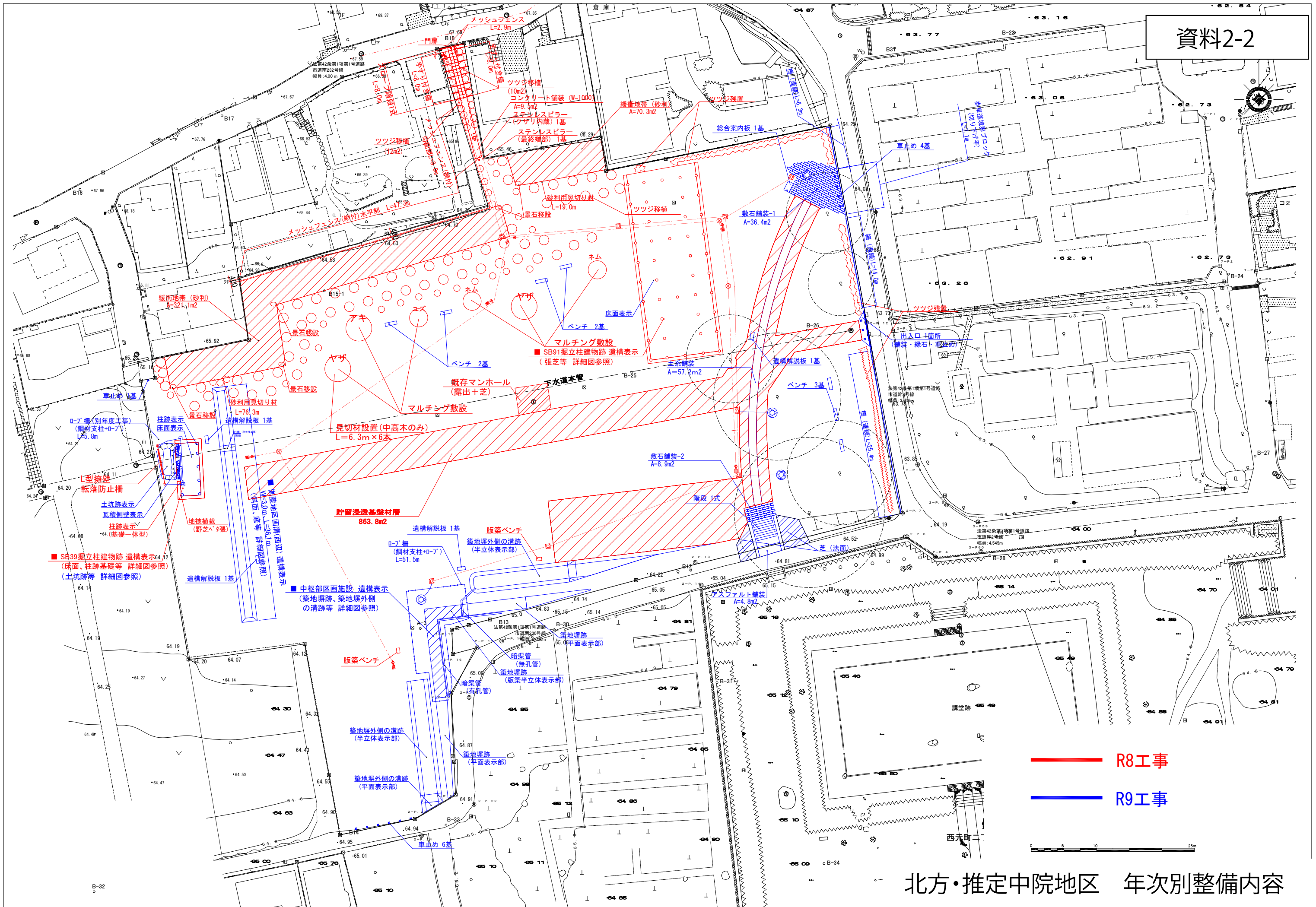
文化財倉庫（北から）



文化財倉庫（南西から）



文化財倉庫内遺物保管状況（令和 7 年 12 月現在）



北方・推定中院地区 年次別整備内容

築地塀版築 復元整備について

1. 素 材

R2 実施設計（高さ 1.4mまで版築。屋根は設けない。）を基本としつつ、中枢部区画北西コーナーについて、耐久性を考慮し改良土（土、セメント、固化剤）で版築を行う。

2. 表層仕上

版築表層の仕上げについては、経年劣化による自然の凹凸を活かす。

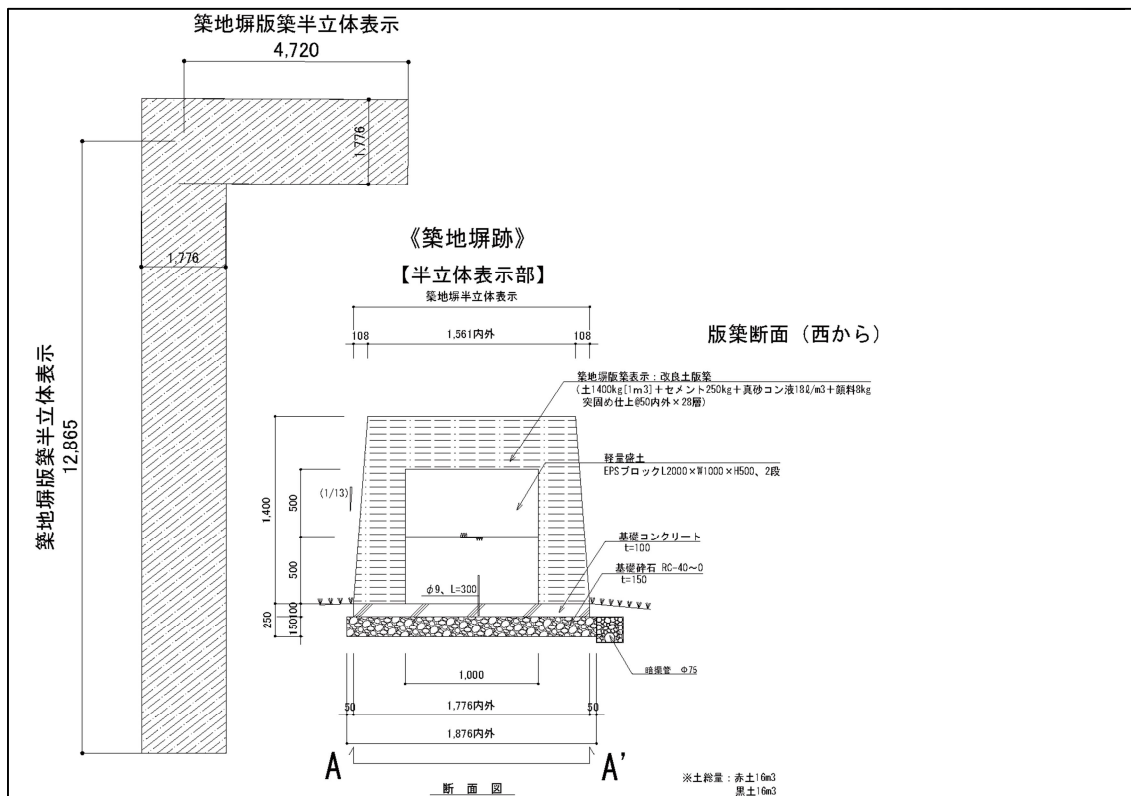
3. 土色・厚み

築地塀については、中枢部区画南辺や北西部で、基底部分検出されたものの、地上部の様相は明らかになっていない。南辺（中門東）の溝内で確認された築地塀崩壊土が黄褐色のローム主体であったことを踏まえ、本復元では暗褐色土と黄褐色土の互層で版築し、1層の厚みは約5cmとする。また、地上露出による経年の風化・色のくすみを活かすこととする。

4. スケジュール

令和8年度：試験施工。色合いや風合いを確認する。

令和9年度：築地塀の版築による半立体表示施工。※市民による版築体験等を検討

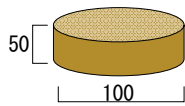


R9 築地塀版築 詳細図（案）

5. R8 築地塀版築 試験施工について

(1) 色調確認サンプル (改良土) 製作

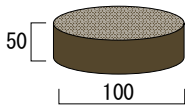
- ①黄褐色土サンプル 4個



赤土、セメント、固化材、顔料

※顔料の配合比を変えサンプルを製作

- ②暗褐色土サンプル 4個



暗褐色土、セメント、固化材、顔料

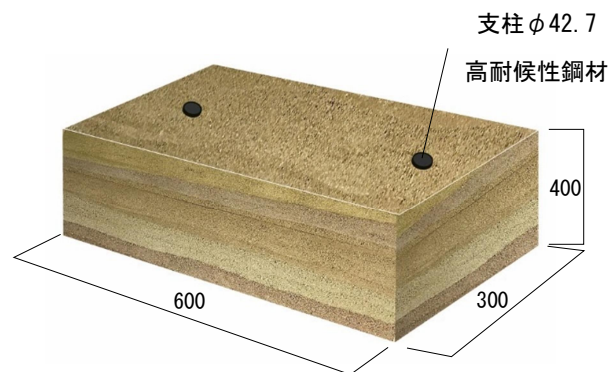
※顔料の配合比を変えサンプルを製作



(2) 試験施工

①黄褐色土 50mm程度、②暗褐色土 50mm程度の互層で高さ 400 mm程度を製作し、施工性、版築ライン、仕上がり状況の確認をする。

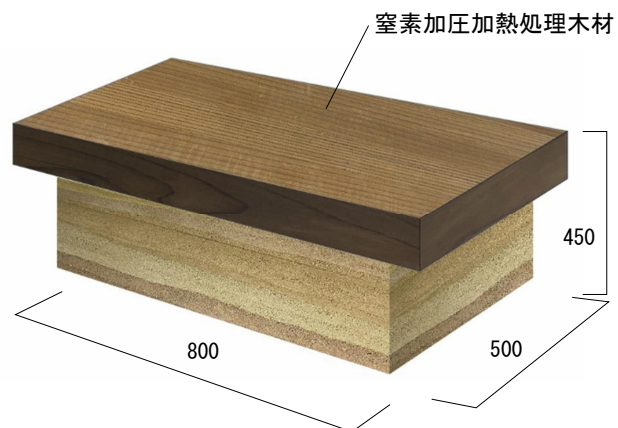
- 供試体 (W600×D300×H400) 2基

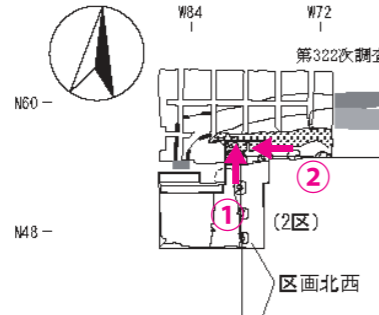


(3) 版築ベンチ

試験施工版築を転用しベンチを製作する。

- W800×D500×H450 2基

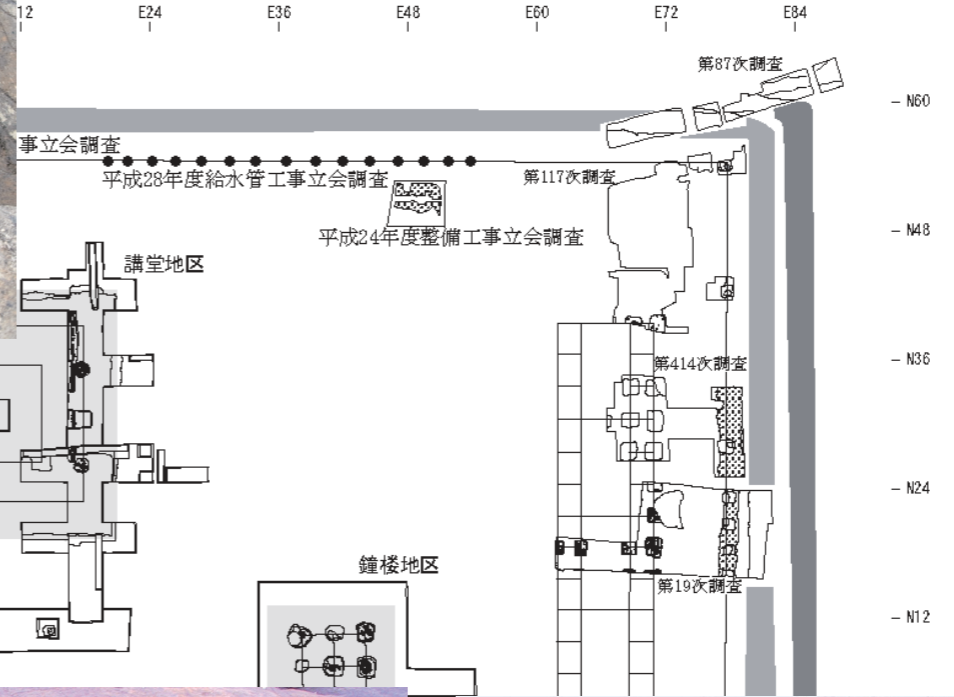




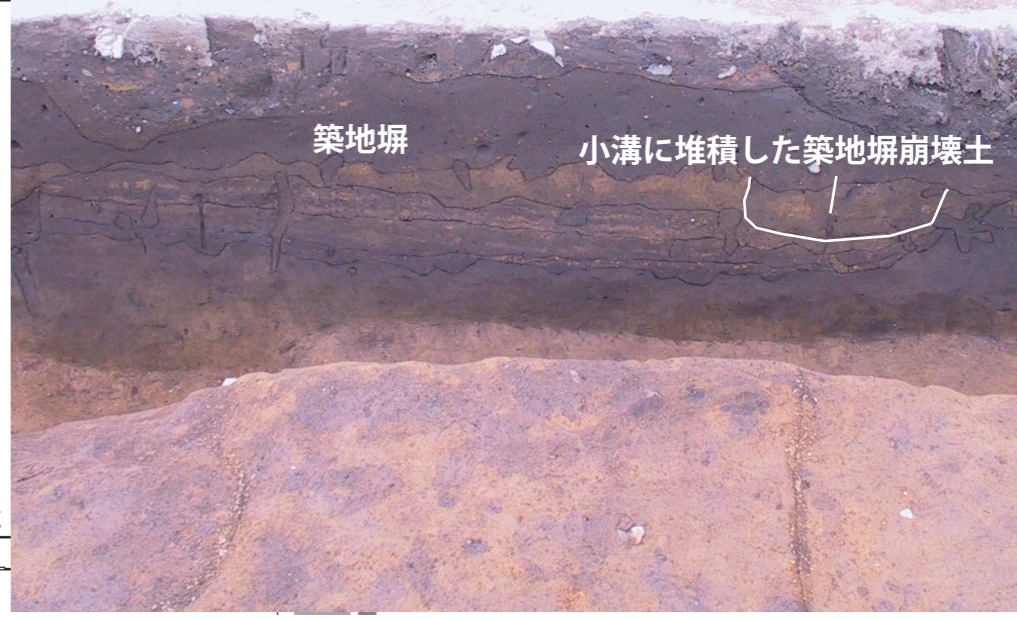
②北西部 東から



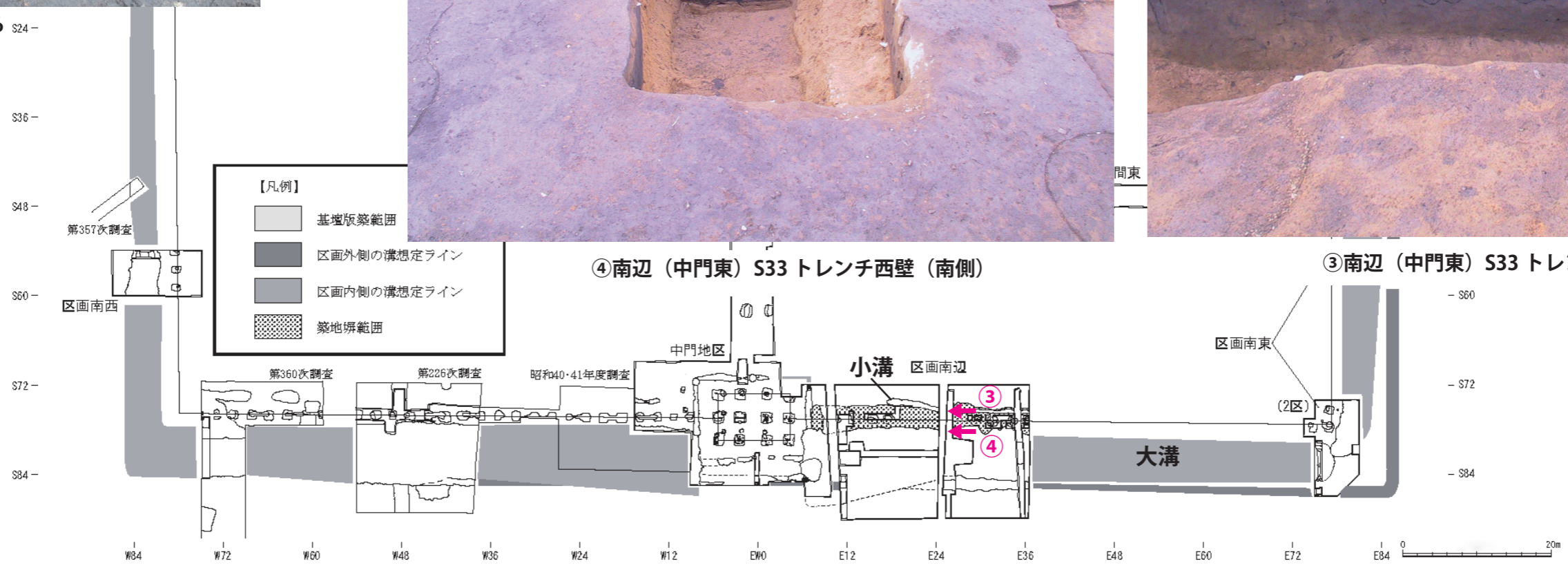
①北西部 南から



④南辺 (中門東) S33 トレンチ西壁 (南側)



③南辺 (中門東) S33 トレンチ西壁 (北側)



僧寺伽藍中枢部区画 築地塀検出位置と検出状況写真

SB39 掘立柱建物 瓦積遺構レプリカについて

1. 概要

北方・推定中院地区の史跡整備（SB39 の遺構表示）では、令和2年度の実施設計に基づき、瓦積遺構について、発掘調査時に取得した3D計測データを基に、GRC製のレプリカを製作し、現地に設置することとする。なお、レプリカ製作にあたって、既設下水道暫定管によって滅失している範囲は、瓦積みで補完する。

2. スケジュール

令和8年度：スチロールによる原型の製作・詳細の確認

令和9年度：GRCによるレプリカ製作・現地への設置



SB39 掘立柱建物瓦積遺構 3D計測状況 (R2)

3. 令和8年度 瓦積遺構レプリカ原型製作について

サイズ：W5255×D800×H600 mm程度（2～3分割にて造形を行う）

（1）データ作成

令和2年度作成3Dデータから造形品のデータを作成。データの確認検査を実施。

（2）スチロール原型製作

データからスチロール素材を切削し、
原型の製作を行う。



（スチロール原型イメージ）

（3）原型検査・納品

造形後、確認検査を実施する。

完成品が破損しないよう梱包し、

指定場所へ納品を行う。



（原型完成イメージ）



（原型完成イメージ）